

# 東城日報

## 大戦五年の回顧 (三)

### 羅馬尼亞の戦況

羅馬尼亞は第二次世界大戦の開始から、同盟国側で戦った。しかし、その戦況は非常に複雑で、最終的にはソ連軍の侵入によって占領された。この回顧では、その戦況の概略と、その背景にある政治的・軍事的要因について詳しく解説する。

### 羅馬尼亞の全滅

羅馬尼亞軍は、ドイツ軍の侵入に際して奮戦したが、最終的には全滅した。この戦いは、同盟国側の敗北を決定づけた重要な戦いである。その戦況の推移と、その結果に与えた影響について詳しく解説する。

### 希王の退位

ギリシャ王国の国王コネーティス2世は、ドイツ軍の侵入に際して退位した。この退位の経緯と、その後のギリシャの政治的状況について詳しく解説する。



### 上田良一

上田良一氏は、戦時下の社会状況について詳しく解説している。その中で、国民の士気を高めるための施策や、戦後の社会再建について意見を述べている。

### 新年会

新年会では、各界の要人が集まり、新年の挨拶や、戦況の報告が行われた。その模様を詳しく解説する。

### 神は思社後不

この文章は、戦況の推移と、その結果に与えた影響について詳しく解説している。その中で、国民の士気を高めるための施策や、戦後の社会再建について意見を述べている。

### 後庭前外相試筆

外務省前外相の試筆である。その中で、戦況の推移と、その結果に与えた影響について詳しく解説している。その中で、国民の士気を高めるための施策や、戦後の社会再建について意見を述べている。

### 後庭前外相試筆

外務省前外相の試筆である。その中で、戦況の推移と、その結果に与えた影響について詳しく解説している。その中で、国民の士気を高めるための施策や、戦後の社会再建について意見を述べている。

### 上田良一

上田良一氏は、戦時下の社会状況について詳しく解説している。その中で、国民の士気を高めるための施策や、戦後の社会再建について意見を述べている。

### 新年会

新年会では、各界の要人が集まり、新年の挨拶や、戦況の報告が行われた。その模様を詳しく解説する。

### 神は思社後不

この文章は、戦況の推移と、その結果に与えた影響について詳しく解説している。その中で、国民の士気を高めるための施策や、戦後の社会再建について意見を述べている。

### 後庭前外相試筆

外務省前外相の試筆である。その中で、戦況の推移と、その結果に与えた影響について詳しく解説している。その中で、国民の士気を高めるための施策や、戦後の社会再建について意見を述べている。

### 後庭前外相試筆

外務省前外相の試筆である。その中で、戦況の推移と、その結果に与えた影響について詳しく解説している。その中で、国民の士気を高めるための施策や、戦後の社会再建について意見を述べている。

### 上田良一

上田良一氏は、戦時下の社会状況について詳しく解説している。その中で、国民の士気を高めるための施策や、戦後の社会再建について意見を述べている。

### 新年会

新年会では、各界の要人が集まり、新年の挨拶や、戦況の報告が行われた。その模様を詳しく解説する。

### 神は思社後不

この文章は、戦況の推移と、その結果に与えた影響について詳しく解説している。その中で、国民の士気を高めるための施策や、戦後の社会再建について意見を述べている。

### 後庭前外相試筆

外務省前外相の試筆である。その中で、戦況の推移と、その結果に与えた影響について詳しく解説している。その中で、国民の士気を高めるための施策や、戦後の社会再建について意見を述べている。

### 後庭前外相試筆

外務省前外相の試筆である。その中で、戦況の推移と、その結果に与えた影響について詳しく解説している。その中で、国民の士気を高めるための施策や、戦後の社会再建について意見を述べている。

<b>謹賀新年</b> 山 登 部 漕 回 池 大 番 七 七 六 話 電	<b>謹賀新年</b> 山 登 會 商 ガ ン リ ム 一 ホ 番 五 四 五 話 電	<b>謹賀新年</b> 山 登 部 漕 回 池 大 番 七 七 六 話 電	<b>謹賀新年</b> 山 登 會 商 ガ ン リ ム 一 ホ 番 五 四 五 話 電	<b>謹賀新年</b> 山 登 部 漕 回 池 大 番 七 七 六 話 電	<b>謹賀新年</b> 山 登 會 商 ガ ン リ ム 一 ホ 番 五 四 五 話 電	<b>謹賀新年</b> 山 登 部 漕 回 池 大 番 七 七 六 話 電	<b>謹賀新年</b> 山 登 會 商 ガ ン リ ム 一 ホ 番 五 四 五 話 電	<b>謹賀新年</b> 山 登 部 漕 回 池 大 番 七 七 六 話 電	<b>謹賀新年</b> 山 登 會 商 ガ ン リ ム 一 ホ 番 五 四 五 話 電
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



### ◇牧野男の聲明

平和主義並に門戸開放主義

▲時局の進展に對する聲明  
▲平和主義並に門戸開放主義  
▲時局の進展に對する聲明  
▲平和主義並に門戸開放主義  
▲時局の進展に對する聲明  
▲平和主義並に門戸開放主義

### ◇愛蘭講和委員

▲愛蘭講和委員の聲明

### ◇宮中政治始式

▲宮中政治始式の式典

### ◇伯林水兵降服

▲伯林水兵降服の經過

### ◇伯林再び市街戦

▲伯林再び市街戦の様相

### ◇波蘭共和國準備

▲波蘭共和國準備の状況

### ◇議和費用支出

▲議和費用支出の概算

### ◇徐總統の謝意

▲徐總統の謝意の文

### ◇陸徵祥と二要求

▲陸徵祥と二要求の聲明

### ◇大統領領米期

▲大統領領米期の決定

李完用伯試筆  
龍吟  
氣似梅花香  
牙祝春風清  
石岸底照國元陽  
注書教伊藤公之題贈其新  
開詩一首呈京城日報  
大正六年元月一日李完用謹啓

仁川米穀會  
極めて強調  
大町氏入城  
重要新聞  
附録四頁  
張中欠禮  
閑裕植

男女の生殖器病  
皆服吳京  
大入御禮  
黃金館

世界大戰の一教訓  
朝晴雪  
多尾佛試刀

結核專門  
古賀病院  
西崎商店

オキシバサ  
一サバサ  
西崎商店



また野生種も澤山居る  
羊ミ山羊ミは親類より

居る様である。  
 ○西伯利派遣軍  
 冬營の  
 狀況を視察に  
 隨軍醫務局長松田新次郎氏は西  
 伯利に於ける冬營情形を其他  
 の狀況を視察の爲一日午前八時三十分  
 分車載乗客汽車にて出發し下の如

北ウラル方面の戦況

め針路を誤り坐礁せるより、乗客は総明を俟て、本艦より陸上に救命舟を渡し之に人を吊して、金部上陸せしめ、海軍より十町餘、上陸し民家に避難せしが凍

損さへ、蒸氣噴筒の威力を示す  
 京城消防出初式の壯觀

此間水管自動車の目録しき活動  
あり最も好成績を納めて午前  
一時三十分終了するが終了後  
仁川、慶南消防組は各隊に分れ  
中煙要の地點其他を巡視秘子  
の曲技を演行せり(仁川)

國有名人繁漢氏の二男、  
の弟である

日等のの鳴  
 管々し述すとも既に世人の周  
 する所である、一昨年中將から  
 將に榮進し近衛師團長から朝野  
 御軍司令官に轉じ、今は軍事參  
 官の要職に在り、將軍は直情馳行  
 好個の典型的軍人である  
 、**浮田御民博士**

坪内文學博士（安政六年生六十）

鼻息を窺ひ世の機嫌を取る時聞  
學者文士の勢からさる中に浮田  
土の風諺辛辣急所を衝く底の論  
は之を講話に聽くも之を雑誌に  
記するも實に愉快事たるを覺ゆる  
得ないのである

なること活動的にして狭  
びエ市經由東海道線に赴か

少將が奇兵を用ゐるにやうべく少將亞當勝車の名を假

A black and white illustration of a person climbing a ladder. The person is positioned on the ladder, with their body angled upwards. The ladder is a simple vertical structure with rungs. The background is plain.

御坐礁の朝鹽越後丸は三十七  
 鹽を發し消津に向ふ途中富

て同夜蒲津に引寄せしを、二日朝山出  
更に救助に向ひ乗客全部を救  
三日蒲津に歸航せり尚ほ盛に  
浸水は第二船に及びしは横關  
無事なりこれ作樂兩燈の爲  
下し難しなる可く破船は白豆  
其他のうろ右は未だ浸水し居

警務部常備消防隊及び京城消防組の消防出初式は四日

未年

場を整明して開式を待つ、  
 となれば開式を報ずる

大槻文學博士  
 大槻文學博士

官の號令通り各人三種の鮮

を蒙らぬ者は殆ど無い事は同  
 士に及べるを見ても知る事が  
 る、博士名は文彦、舊仙臺藩



二十圓官吊千百圓を奪  
(長春特電廷著)

火通八  
火各  
火四  
火せ

春易所

初日 五時 表

銀日は

零下 九、八  
零下 一六、一  
零下 一四、四

民部省下  
つた  
並町二  
八時よ  
式を行  
八日よ  
およ

なるが来る七日京城（きやうけい）に於（お）ける本願寺の講演會に於（お）て講演を爲す可しと

に元旦。いって大の暇も早。昨日した。

(一) 第一節久松、二節千代  
三節は秀千代を筆頭に花男  
と云ふ。是れも、こゝに於て  
秀千代、花男(色)菊

（二十一）名孟陽小基山一號與八  
 同姓與八一號在九有與同姓八  
 姓與八一號在九有與同姓八  
 姓與八一號在九有與同姓八

年新賀謹

奉天  
 原口聞

年新賀謹

京城南山町三 長電話二三三三九四四九二  
 京城 小テル  
 同 太田驛階上 長電話四〇番  
 同 釜山棧橋 電話二九番  
 同 喫茶店

年新賀謹

土木建築請負業  
 遠田組  
 遠田久三郎  
 京城日之出町  
 田中常吉

年新賀謹

朝鮮銀行釜山支店  
 第一銀行釜山支店  
 百三銀行釜山支店  
 殖產銀行釜山支店  
 釜山商業銀行  
 慶城銀行釜山支店  
 漢城銀行釜山支店

年新賀謹

京城蓬萊町 電話長一〇六七番  
 三巴酒造株式會社  
 平壤壽町 電話五一八番  
 三巴出張所  
 太田春日町 電話二五番  
 三巴出張所

年新賀謹

朝鮮京城漢江通拾六番地  
 合資進和商會  
 出張所  
 電話六六二番

年新賀謹

京城本町  
 三越吳服店







宮中の新年御宴



明徳に川御宴はれ各々成りて  
 康政の山縣公方東郷大膳を各勤位  
 殿内御料理大臣に床次内田萬壽  
 田中加藤中青山本野田の  
 各務卿大臣  
 並に公卿  
 御殿を  
 幸に供御し奉る  
 御宴は開始  
 さら先づ  
 御水の物  
 上は御酒類  
 御取看  
 一、御登し物  
 二、ほうり草、黄菊、御香湯

[illegible]

古今名流の謡曲趣味と  
II 京城新年の斯界

朕統年ヲ賀し國大公使並に諸大臣ノ祝宴ヲ開き歡を共にする  
 大いに喜ばる  
 〇行くへ定のぬ道なればく越して  
 能樂曲は足利の初  
 産出した能樂曲は足利の初  
 代文永の代  
 に瀟灑したらしく當代文永の代  
 作とも稱せらるる、すけ時代の毛  
 能舞臺に立つた本願寺の遊如や

さいふ<sup>さいふ</sup>、意味<sup>いみ</sup>、動詞<sup>どうし</sup>、賜<sup>たまはく</sup>  
 尊蓮<sup>そんれん</sup>に在る<sup>あ</sup>ターシ<sup>た</sup>英國大使<sup>えいこくたいし</sup>は各  
 國大使<sup>こくたいし</sup>代表<sup>だいひょう</sup>て  
 幻<sup>まじな</sup>の如<sup>ごと</sup>なり<sup>なり</sup>と申<sup>まをす</sup>此<sup>この</sup>行儀<sup>ぎやうぎ</sup>  
 に堪<sup>かへり</sup>せざる逸事<sup>いつじ</sup>を追想<sup>おきさう</sup>した  
 るある面談<sup>めんだん</sup>がある、東山<sup>とうざん</sup>時任<sup>ときじん</sup>

親しく外臣等新年に御慶に召され、優厚なる勅語を賜ふ。外臣等感激の至りに堪へず、新年度に際し羽衣を物せしめ得らるゝ家山時代の漂流を経て播川の治世百年の間主太夫の娯楽神事の興に限られた能楽謡曲は明治十年

さいふ趣味を養ひついで、**原内閣**  
 趣味の養成に可なり、**陸且つ長三**  
 下の萬歳を祝ふ皇族殿下の御  
 樂旨を賞し奉る。  
 はざるを得ないが、  
 武士の精神、武士道徳の標本  
 趣味として歡迎されたい、  
 此處を離るゝに至つたのは泣く

年頭吟 「こも言ふべき鎌倉時代を中心とし偶然の事ではない。」  
小原長官 坂出技師 森安博士

雪  
長安才李公朴氏

有財けの形

[illegible]

何  
 王  
 崔  
 林  
 年

放羊  
川村上天眞寫



吾人は諸國形勢の中國であるより、  
よき如く民族の嗜好なり、  
其の玩者は必ず十數萬人を要する  
易々ミウラル越し、銀双六、水戸  
双六や佳き人に梅はのかき、六橋  
の灯に集ふ子供や、銀双六、六角  
の如く、なほ國の如く、鐘聲に

◎花の春徳の祿府現社と紅葉嶺の  
曲界は年々隆盛に赴く一方、  
あるが艱賸實生喜多三流の同好者  
兵卒も交りておかし給六六

日復北御前、戯かる事共に言ふら畏  
し、椿山莊の雨に集る山簾薄  
最も言の意を得たるは京城俱  
甲は靜と双六の夜に、免羽

松平幸草の藩公子・雪村調の茶宴に  
曾しし蜂岡御勤王・藤原中幸の諸  
紳卿が閑寂興趣、俗念を遺るも  
若之を撤充して會員外の人をも  
春の人数六持ち人や納戸六夢ち  
双六に兄の中尉も交り居り梅香  
社庭園の上で鼓々々々来り双六を  
松平幸草の藩公子・雪村調の茶宴に  
曾しし蜂岡御勤王・藤原中幸の諸  
紳卿が閑寂興趣、俗念を遺るも  
若之を撤充して會員外の人をも  
春の人数六持ち人や納戸六夢ち  
双六に兄の中尉も交り居り梅香  
社庭園の上で鼓々々々来り双六を

最盛の如し、松陰裡に雲水院を  
開設の僧正ありて飛雲閣上帖を立  
舞ふの佳入あり。早稲田の森にも

是に二篇を事であらう。従つて  
雪晴に攻め居る房間や續友六三  
叔父・姉兄等得意。續友六三

伯林に攻め上りける續友六三  
の如き雅緻へりける續友六三

舞臺に大會を開くに至らば  
驚異し、事の大會を開くに至らば

三田の町にも諸翁を唄き高田博士は  
 脚形花を一は上に入り花は一月は  
 雨に風は定家は爲小僧は爲り實  
 會を開る美國のつゝ獨り飯世の  
 何ぞな創畫の形を爲し居るは吾  
 人進徳する處である諸曲の愛好  
 双六を樂む數の遊女かな榮  
 双六の人輪廻に勝れけりみ  
 われや亦諸翁にも諸翁にも眞伍  
 和せたりと云ふ終りに又眞伍

盛に爲り辦達し、誠といふて呼ぶ人  
人生の行樂、身心の静養、豈れに  
に過ぐるの快事ではないであらう

者は、偲び互の圓滑を期し各人の  
感親角し紳士交際の一種圖たに  
むるを圖らべきであら

双六に小さき顔と並べけり二番  
佳客人に陰る夕日や給取六段目  
双六はさけるくまを成りぬる

三才圖會

玉水  
早崎源

賀新年

電話三〇八番

宮崎農

1. The first part of the document is a title page. It contains the title of the document, the author's name, and the date of the document.

電話 二六八番  
電話 三三三番

第二の組

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840.











